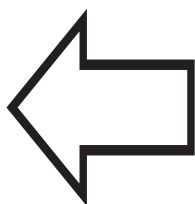


# 一般質問

月日	質問者氏名	質問事項
12月9日 (月)	萩尾 洋	1 通学路の安全対策について
	角田 恵一	1 災害復旧対策について
	朽網 英文	1 第6次八女市行政改革大綱の成果は
		2 立花町山下地区の浸水対策のその後は
三角 真弓	1 障がい者対策について	
	2 公共施設の在り方について	
	3 地域包括ケアシステムへの考えは	
12月10日 (火)	井本 政弘	1 悪臭問題について
		2 冠水対策について
	中島 信二	1 防災対策について
		2 定住化促進対策について
松崎 辰義	1 環境問題について	
樋口安癸次	1 鞍懸町内道路の改修について	
	2 雇用促進住宅の買収について	
	3 県道柳瀬筑後線の拡幅について	
	4 県道玉名八女線矢部谷峠のトンネル実現について	
12月11日 (水)	小川 栄一	1 定住化施策の効果について
		2 飲料水と排水環境の市民受益の公平性について
森 茂生	1 国道3号の改善促進について	
	2 生活保護について	
牛島 孝之	1 成年後見支援事業について	
	2 学校敷地等の調査後における進捗状況は	
	3 建設課を含む事業課における官民境界協議に対する考えは市道・水路について市の所有権の確認	
12月12日 (木)	橋爪 房義	1 小・中学生の交通安全確保の推進について
		2 汚水処理事業について
石橋 義博	1 財政問題	
	2 人事問題	

《一般質問の詳しい内容》



## 通学路の現状は、安全かつ安心して通学できる状況か

**答** 教職員が必ず実地調査を実施し、常に点検している



萩尾 洋



大淵地区本田

**問** 全国的に通学児の列に車が突入する事故が発生している。緊急合同点検の結果は。

**答** 点検を実施し、50の危険箇所に対し、地元や警察、県土事務所とも協議をしながら、信号機、横断歩道、カーブミラー等を順次設置し対応している。

あると認識している。警察・県土事務所とも協議し、緊急な対応をとらなければと考えている。

**問** 児童・生徒に対する交通安全指導は徹底しているのか。

**答** 4月の段階で小中学校それぞれ1時間、他の指導については帰りの会や朝の会で登下校に関する指導を実施している。

**問** 歩道設置がない箇所が多いが、今後の対策は。

**答** これからの研究課題であるが、迂回路を通り学校敷地内に入ることができるといった措置を講じていく必要性を感じている。

**答** この路線は交通量も多く非常に危険な道路で



角田 恵一



被災を受けた河川に隣接した農地

九州北部豪雨で被災した農地・農業用施設の完全復旧に対する考えは

**答** 可能な限り復旧できるように今後も努力していきたい

また、農家自ら施工される場合、機械賃借料、燃料代、原材料代の全額を助成する。

**問** 現行制度で復旧できない農地等がある場合どう対応していくのか。

**答** 現行の補助制度を十分活用していくのが基本であるが、今後そうゆう事が出来た時はケースバイケースで対応していく。

**問** 県道の迂回路として利用している市道の改修、補修はどうするのか。

**問** 河川災害に隣接する農地の内、補助対象とならない被災ヶ所数は。

**答** 農地関係全体の被災ヶ所数は1800を超えており、その内約1600ヶ所が対象外であり、7割が河川沿いに位置している

**問** 国、県の補助対象外に対する市の補助制度は。

**答** 受益面積2アール以上、50万円以内に対して、その80%以内を補助する。このについては市が責任を持つ。

**答** 迂回路周辺の住民の皆さまに大変迷惑をかけている。県道復旧後の補修等については県に要望していく。県でできないと



朽網英文

## 第6次行政改革の大綱 実施の成果と評価について

**答** 第6次行政改革大綱と実施計画に基づいている

**問** 第6次計画の評価についてどのようにされているのか。

**答** 八女市行財政改革推進委員会において精査している。

**問** 定住化促進のための課題については。

**答** 八女市過疎自立促進計画、八女市定住自立圏共生ビジョン計画など、重

層的な施策を展開している。

**問** 都市計画また、環境資本整備の近隣市町との連携は。

**答** 広域的な都市基盤づくりや産業振興のためのインフラ整備等の推進に、近隣自治体と連携をこころ。

**問** 今後の財政シミュレーションについて中期、長期についての考えは。

**答** 今後の財政基盤を確立するには、動向を注視しながら、第7次八女市行政改革を推進する。

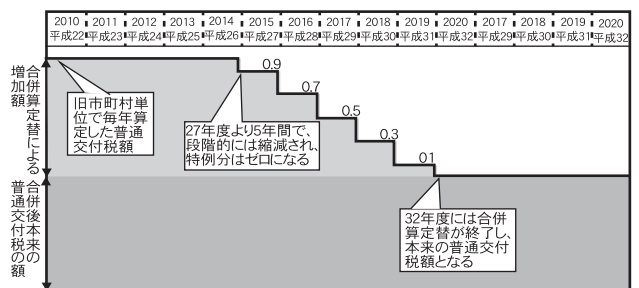
**問** 立花町北山山下地区の滞流の問題について。

**答** 山下地区の被害を解消する対策を検討している。

**問** 具体策は。

**答** 国土交通省、九州地方整備局筑後川河川事務所、八女県土整備事務所等と検討している。

普通交付税合併算定替の推移(イメージ)



第6次八女市行政改革大綱より

## 療育を必要とする就学前障害者に対する支援をどう考えていくか

**答** 潜在的な対象者を把握し、専門・支援機関につなぐ

**問** 幼子を抱え、遠隔地まで機能訓練に通われる保護者の負担を軽減していただきたい。

**答** 十分に聴取をしながら、どのような支援ができるのか検討していく。

**問** 将来的に市の財政が厳しくなる中で、具体的にどのように検討していくのか。

**答** 学校、住宅、社会環境分野、上下水道等の所管はその在り方について検討が進んでいる。それ以外の約218施設(人件費を除いた維持管理費は約15億)については、公有財産

活用検討委員会で136施設を抽出し、2ヶ月中に方向性を出す。

**問** 統廃合により廃校となる学校の跡地利用は、地元住民の意見聴取を十分にやっていただきたい。

**答** 十分意見の聴取をしながら結論を出していく。

**問** 超高齢化、限界集落へと加速する中、住みながら地域で一生自分らしい生活ができるよう、医療・介護・生活支援等のサービスを提供するシステム作りが必要では

ないか。

**答** 喫緊の課題である。



三角真弓

### 地域包括ケアシステムのイメージ ～地域での医療・介護・福祉・保健の連携体制づくり～



公明新聞より

## 毎年学校周辺が冠水し、緊急時の避難所にならない。抜本的な対策を

**答** 山の井川・花宗川の改修を県に要望していきたい



井本 政弘



九州北部豪雨による忠見小学校付近の冠水状況

**問** 毎年福島地区、吉田地区、忠見小学校周辺で、道路冠水により危険な状況となる。また、農地の浸水被災も出ている。抜本的な対策はないのか。

**答** 統合的な対策をして、国の補助事業である集落基盤整備事業を行うことを決定した。八女市全域の問題のある河川の整備をすることで排水の効率化につなげるため現在検討を進めている。平成27年度の事業採択を見込んでおり、4年〜5年ほどの事業である。

**問** 悪臭問題について

**問** うすま・ふぁーむぱーく側の悪臭は、創業以来11年間続いている。この間7度の市の改善勧告にも関わらず、悪臭防止法に基づき市の基準値をクリアしていない。市の対応に限度があるなら、認可権者の県に対して、より積極的な対応を図られるよう強く要望すべきではないか。

**答** 市としても会社側に厳しく勧告もしている。市長自ら県に対し強く要望し、厳しく指導していただ

くお願いをしよう。



中島 信二



行政区、消防団等による災害図上訓練の様子

豪雨災害後、八女市地域防災計画の見直しが決定しているが予定は

**答** 県との整合性を図り、本年度内に見直しを終了予定

**問** 避難、救助には自助共助公助とあるが、隣人救助、すなわち“近助”が重要であると思う。又災害時要援護者の避難対策は。

**答** 対象者を登録して支援して頂く方へ依頼して避難の確認をしている。

**問** 定住化促進について

**答** 対策の一環として八女材普及促進住宅資材助成事業の補助金を百万円にアップしたかどうか。

**問** 十分協議会等で検討していきたくと思う。

**問** 人口流入、増加を目標とするならば幼児教育費、保育料の無償化は考えられないか。

**答** 保育料完全無償化は財源の問題もある。新しい子育て支援策を考慮中。

**問** 自主防災組織の周知徹底、また、支援整備事業の検討はしているのか。

**答** 八女市では豪雨災害前より自主防災組織の組織化に取り組み、ほとんどの行政区で組織し、訓練され、支援も行っている。の方向で指導したい。

**問** 行政区単位の組織だけでなく、もう少し小単位の隣組単位で防災組織の行政指導はできないか。

**答** 全くその通りであり末端の方の参加により様々な危機管理がきまるので



松崎辰義

改善計画をきちんと遂行するためには、県との連携が重要となるのでは

**答** 市と県と業者の三者が率直に話せる環境をつくる

**問** 10月3日にうすま・ふあーむぱーく株の臭気が測定の結果、基準値をオーバーしたことで、改善勧告を出されているが、今年は何回測定されているのか。

**答** 最初の測定が10月3日である。

**問** 4月から、サンニックスの汚泥の搬入料は増え、ひよっとしたら以前から基準値をオーバーしていたかもしれない。4月から搬入量が増えたことを知って、住民と業者への対応はどうしたのか。

**答** 9月、業者の所に行きた折に不満、不快の意を言った。また、何日かははっきりしないが、9月中に悪臭防止策会議へ電話連絡をした。



工場

**問** 市長は9月議会の折りにこの問題に限らず、常に住民に対しては信義をもって尽くす」と言うておられたが、これまでの対応を考えると、そうは思えないが。

**答** 記録の問題は、たとえ電話でもしっかりと記録する必要があると思う。基本的には今日まで答弁した通りである。

通じである。

## 鞍懸町内道路の拡幅改良について「託児施設さくらんぼ」の道路拡幅について

**答** 実態把握を含め地元行政区と協議をしていきたい



樋口安次

**問** 雇用促進住宅の買収について。

**答** 建物内部は外部以上に傷みが激しく、小規模な修繕等で入居できない状況であり、改修費用や駐車場整備など必要になると見込んでいる。買収については、市営住宅等長寿化計画との整合を図りながら総合的な観点から検討して慎重に判断していきたい。

**問** 県道柳瀬筑後線の拡幅について。

**答** 県道柳瀬筑後線については、改良要望を重ねた結果、平成23年度から下新庄市内では離合不可能箇所改善のための工事が進められている。

今年度は94メートルの工事が実施される。引き続き本路線の早期整備に向けて県へ強くお願いし、事業促進に努める。

**問** 県道玉名八女線矢部谷峠のトンネル実現について。

**答** 八女市と和水町で平成20年に設立された玉名八女線道路整備促進期成会は、福岡・熊本両県の重要な路線であるとの認識のもと毎年両県へ要望活動を行っている。八女市としては、今後とも八女管内における未完了区間の早期完了とトンネル整備に向け、国及び両県へさらなる要望活動に努める。



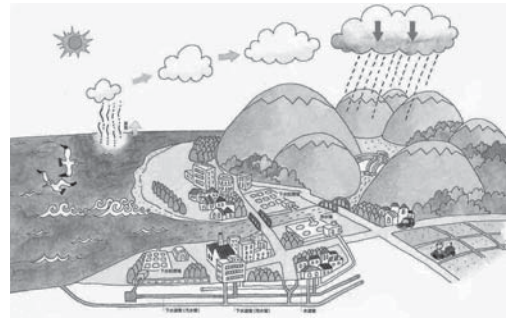
白木・和水町間のトンネル

## 上・下水道とも、ある程度でやめる判断が大事ではないか

**答** 上水道は平成31年度、下水道は40年後完成の予定である



小 川 栄 一



**問** 40年後に終わる、予算は一般会計からも出すでは、非常な不公平が出て来はしないか。

**答** 多大な経費と期間を要するが、都市基盤整備のために必要な計画だ。

**問** 区切りはつけるのか。

**答** 国の方針転換もあり見直すべきとの指導もあるので、旧八女・立花・黒木とも平成20年に3割程度縮小した。第2弾の計画見直しも図るつもりだ。

**問** 上・下水道ともにある程度で止めて、それにかわるものでいくと、理解しているのか。

**答** 止めていつか、区域

は決める。今の段階では説明できないが、見直し時期が来たら検討する。

**問** 必ずしも上・下水道

でなくても蛇口の水が安全で、汚水も安心して排出できれば問題ないと思う。まさに定住化施策の根幹と思うが。

**答** 下水道の事業集結は平成50年でかなり期間があるがやらなければならぬ。縮小すれば計画エリアの人々にどうするか、国・

県・構成市町村とも協議し不平等性をいかに解消するか、これからの課題として考えていかなければと思う。



森 茂 生



## 4年続けて死亡事故が発生、その対策は

**答** 国などに要望活動を重ねている

の。親子、兄弟の関係でも様々な状況があり援助を強制できない。

**問** 親戚は全部扶養しなければならぬ雰囲気があるが、強い扶養義務があるのは「未成熟の子に対する親子関係」と「夫婦関係」だけ。生活保護で問題になるのは「成熟した子との親子関係」と「兄弟関係」。その関係でも自分が普通の生活をした上で、なお余裕があれば扶養しなさいというものだ。

**問** 八女署管内の国道3号11年間で15件の死亡事故が発生、この内8件が辺春で発生している。国の動きは。

事業が進捗するのでは。生活保護について

**答** 国道事務所長みずから現地を全部見た。今後

**問** 生活保護法の「民法に定める扶養義務とは」。

**答** 扶養義務者が、援助が可能であれば、先に援助を受けてもらうことも

**答** 扶養義務者と同居の家族が社会的地位にふさわしい生活をして、それ以上余力があれば扶養義務が課される。



牛島 孝之

## 八女市の成年後見支援に 対する考えは

**答**

現在地域包括支援センターで  
相談支援業務を行っている



**問** 市民後見人の養成に  
ついて八女市の考えは。

**答** 市民後見人は専門性  
を含めたところの受講研修  
を受けながら増やしてい  
きたい。

**問** 学校敷地等の調査後の進  
捗状況について

**答** 25年9月議会答弁後  
の進捗状況は。

**答** 25年9月議会後調査  
により、学校用地につき  
2筆増加し10筆が未登記  
となっている。

**問** 建設課を含む事業課にお  
ける官民境界に対する考  
えは

**答** 上下水道局において  
工事をするときには、官  
民境界の確認について徹

**問** 上下水道局において  
工事をするときには、官  
民境界の確認について徹

**答** 底されているか。

**問** 現在地地図をもとに  
全ての土地に対して確認し  
ていく。

**問** 後退道路用地に関す  
る業務につき、本庁と総  
合支所又支所において温  
度差があるのでは。

**答** セットバックの考え方  
については、本庁、それか  
ら各支所とも統一した見  
解で指導していくので統一  
化されていくと認識してい  
る。

## 一般財源を圧迫する下水道事業の 今後を、市はどう考えているのか

**答**

認可区域完了後、人口の動向、地形等  
勘案し判断したい



橋爪 房義



通学路（県道 唐尾広川線…岡山公園西）

**問** 年々、市人口が減少  
する中、本事業には、毎  
年多額の一般会計繰入金  
が投入されている。直近  
の平成24年度、25年度に  
は、その額は、それぞれ  
4億5千万円を突破した。

**答** 平成25年度までに、  
計画面積861ヘクタール  
の内、福島、岡山校区を  
中心に423ヘクタールが  
整備完了で、49%の進捗  
率を見込んでいる。今後は、  
認可区域である福島、上妻、  
長峰各区の一部を整備し、  
平成27年度までに、認可  
区域の整備を完了する計  
画である。近年、国でも  
合併浄化槽の話も多くな  
り、今後、慎重に議論し方  
針を決定したい。

**問** 一方、起債額は（国から  
の借入金）現在、元金  
利子を含め、81億960  
万円に達している。本事  
業の今後を展望する時、  
一般会計繰入金や起債額  
は比例的に増大し、目先  
に山積する地元要望事業  
等の先送りの状態は、ま  
ずまず悪化するものと考  
える。本事業の将来的な  
見通しは。

**問** 小中学生の交通安全確保  
に向けた改善策は

**答** 危険道路の横断歩道  
や消えた路側帯の対処は、  
合同点検後、管理者  
と協議し進めていきたい。

## 八女市の財源問題について

**答** 今後それらについて十分検討していきたい



石橋 義博

**問** サッカー場や歴史資料館等、施設に予算を注がれているが維持管理する費用も含めこれから必要とする財源はどう考えておられるのか。

**答** 積極的に企業誘致を進め財源確保に努める。

**人事問題について**

**問** 課や支所等に怒鳴り込みや、抗議のハガキ等もあるそうだが人事に問題があるのでは。



未来に向かって進む八女市

**答** 職員の対応が説明不足であったり対応の仕方に問題があると思われるので人材育成計画に基づき職員研修等によってその能力を高めるようにして努力していきたい。

### 全国森林環境税創設促進議員連盟への加入拡大活動を実施

国土の3分の2を占める森林は、木材などの林産物の供給をはじめ、地球温暖化防止や国土の保全、水資源の涵養、土砂災害防止、自然環境の保持など多様な公益的機能を有する、私たちの生活と切り離すことのできない貴重な財産です。議員連盟では、森林が果たす公益的機能とその重要性を広く訴えながら、これらの施策を担う市町村の恒久的な財源確保を図ることを目的として「全国森林環境税」を創設するために、様々な活動に取り組んでいます。

八女市議会も、旧黒木町議会の活動を引き継ぎ、福岡県理事として「全国森林環境税」創設のための活動を展開しています。

川口議長は、八女市議会を代表して、11月29日に、大牟田市、筑後市、大川市、柳川市、みやま市の各議会に対し、議員連盟への加入要請を行いました。

### 麻生財務大臣、新藤総務大臣などに要望活動

全国市議会議長会国会対策委員である川口議長は、委員会メンバーとともに、12月3日と4日の2日間にわたり、「平成26年度政府予算に関する重点要望」東日本大震災からの早期復旧・復興及び原子力発電所事故災害に関する要望」の実現を図るため、麻生財務大臣、新藤総務大臣など関係閣僚や与党関係者のもとを訪れ、要望に対する理解を精力的に求めました。



新藤総務大臣(中央)  
川口議長(右)